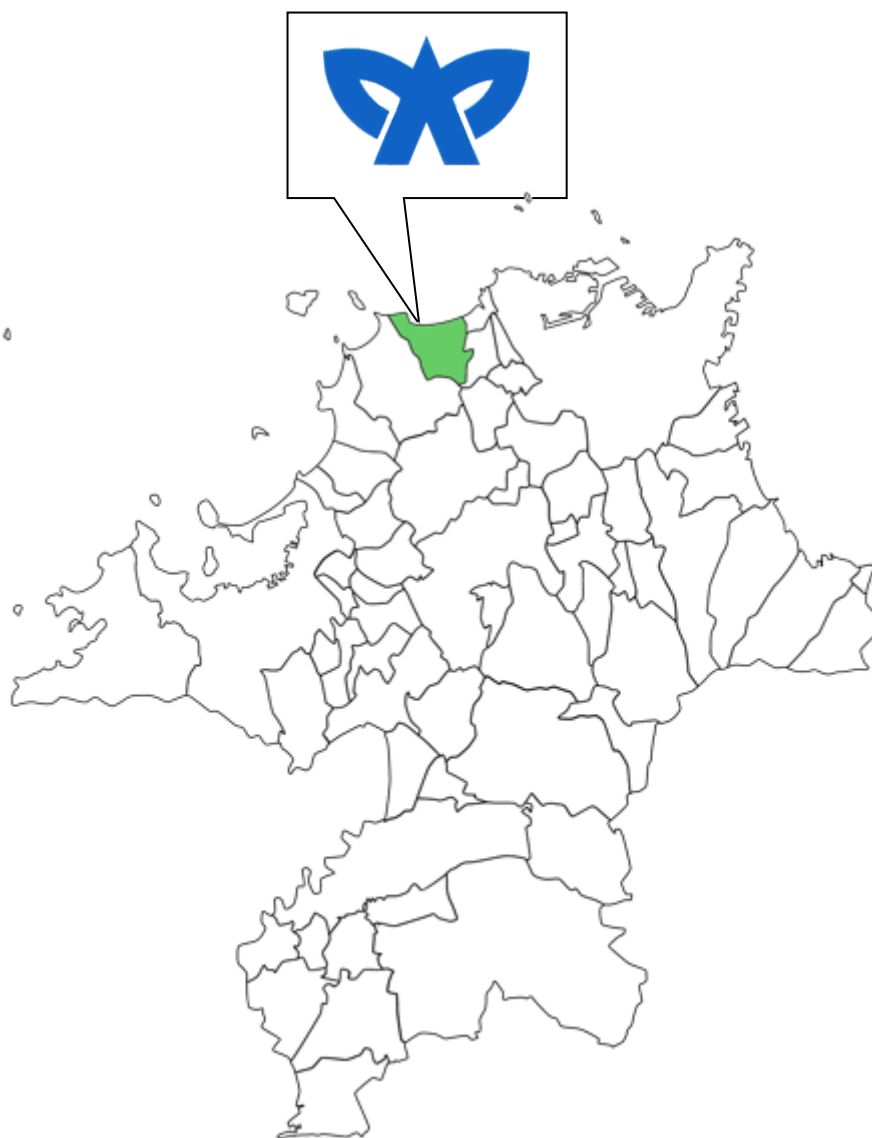


経営発達支援計画

第1回地域経済動向調査 集計報告書



平成29年12月
岡垣町商工会

目 次

I. 当報告書について	1
II. 会員アンケート集計結果分析	
1. 事業所の概要について	2
2. 商工会への加入、商工会の事業活動について	5
3. 事業所について	7
4. 事業所の感じる景気などについて	13
5. 事業所の感じる資金調達や設備投資、製品・商品などについて	16

I. 当報告書について

岡垣町商工会は、経営発達支援計画において、小規模事業者支援を通じた中長期的な目標として、「地の恵み・地の利を活かした活力ある産業を育てます」というテーマのもと、その実現を目指しています。

現在、事業者への経済活動の情報提供は、広範で一般的なものが多く、必ずしも事業者にとって有効な情報提供とはなっていません。また、事業者が欲している情報のニーズ等の把握も充分にはできていないことが課題となっています。

先に中小企業庁より認定された経営発達支援計画では、今後の目標として、事業者が必要としている情報のニーズの把握を行い、情報収集と分析によりタイムリーな支援に役立てることを挙げております。

その実現のため、「地域の経済動向調査に関すること」を実施項目として挙げており、下記について新たに取り組むこととしております。

- ①小規模事業者の動向調査
- ②地域の経済動向調査

上記計画に従い、当商工会では平成29年10月に会員の小規模事業者の皆様へ向けて、アンケート調査を実施しました。

当報告書においては、その実施状況と分析結果を報告いたします。当報告書が、岡垣町における地域経済、および岡垣町商工会会員の小規模事業者の皆様の事業活動の一助になれば幸甚に存じます。

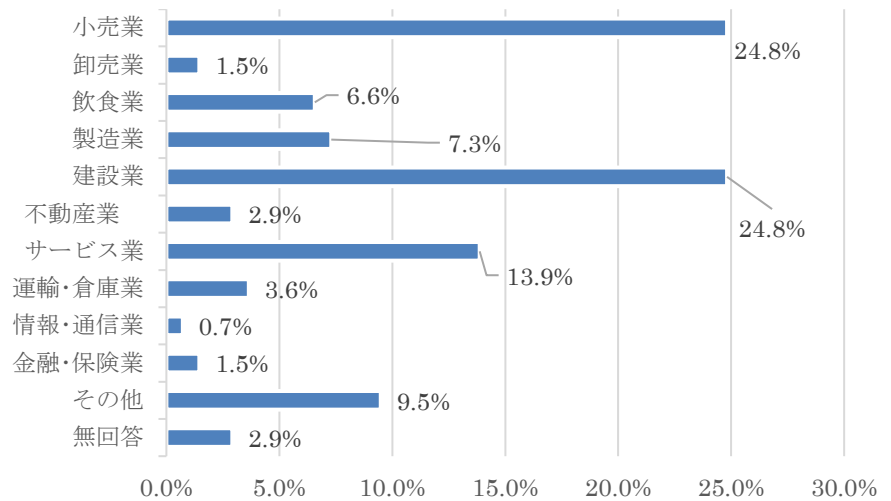
以上

Ⅱ. 会員アンケート集計結果分析

1. 事業所の概要について

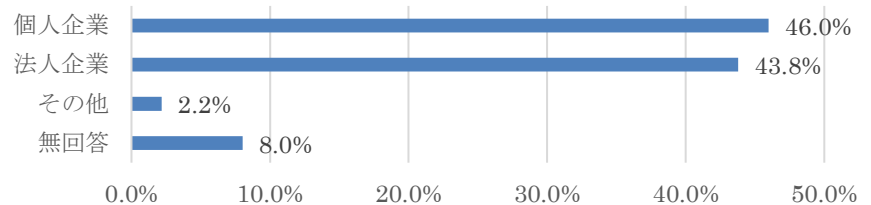
(1) 業種

項目	回答数	比率
小売業	34	24.8%
卸売業	2	1.5%
飲食業	9	6.6%
製造業	10	7.3%
建設業	34	24.8%
不動産業	4	2.9%
サービス業	19	13.9%
運輸・倉庫業	5	3.6%
情報・通信業	1	0.7%
金融・保険業	2	1.5%
その他	13	9.5%
無回答	4	2.9%
合計	137	100.0%



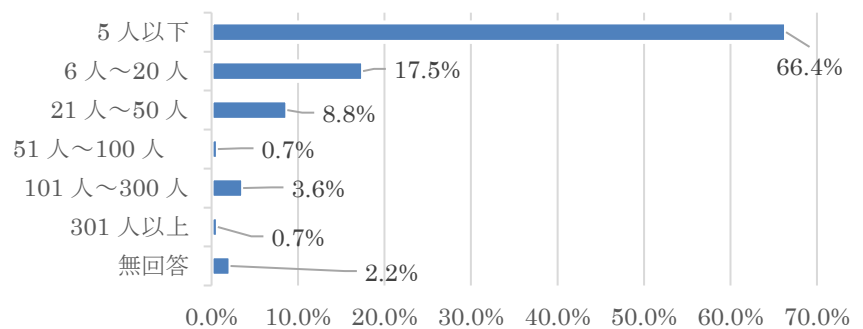
(2) 組織形態

項目	回答数	比率
個人企業	63	46.0%
法人企業	60	43.8%
その他	3	2.2%
無回答	11	8.0%
	137	100.0%



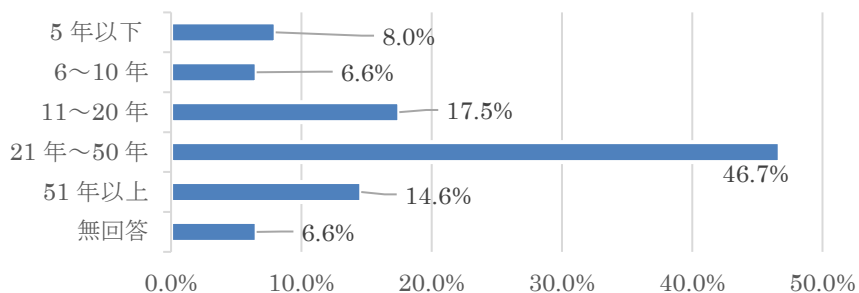
(3) 従業員数

項目	回答数	比率
5人以下	91	66.4%
6人～20人	24	17.5%
21人～50人	12	8.8%
51人～100人	1	0.7%
101人～300人	5	3.6%
301人以上	1	0.7%
無回答	3	2.2%
合計	137	100.0%



(4) 営業年数

項目	回答数	比率
5年以下	11	8.0%
6～10年	9	6.6%
11～20年	24	17.5%
21年～50年	64	46.7%
51年以上	20	14.6%
無回答	9	6.6%
合計	137	100.0%

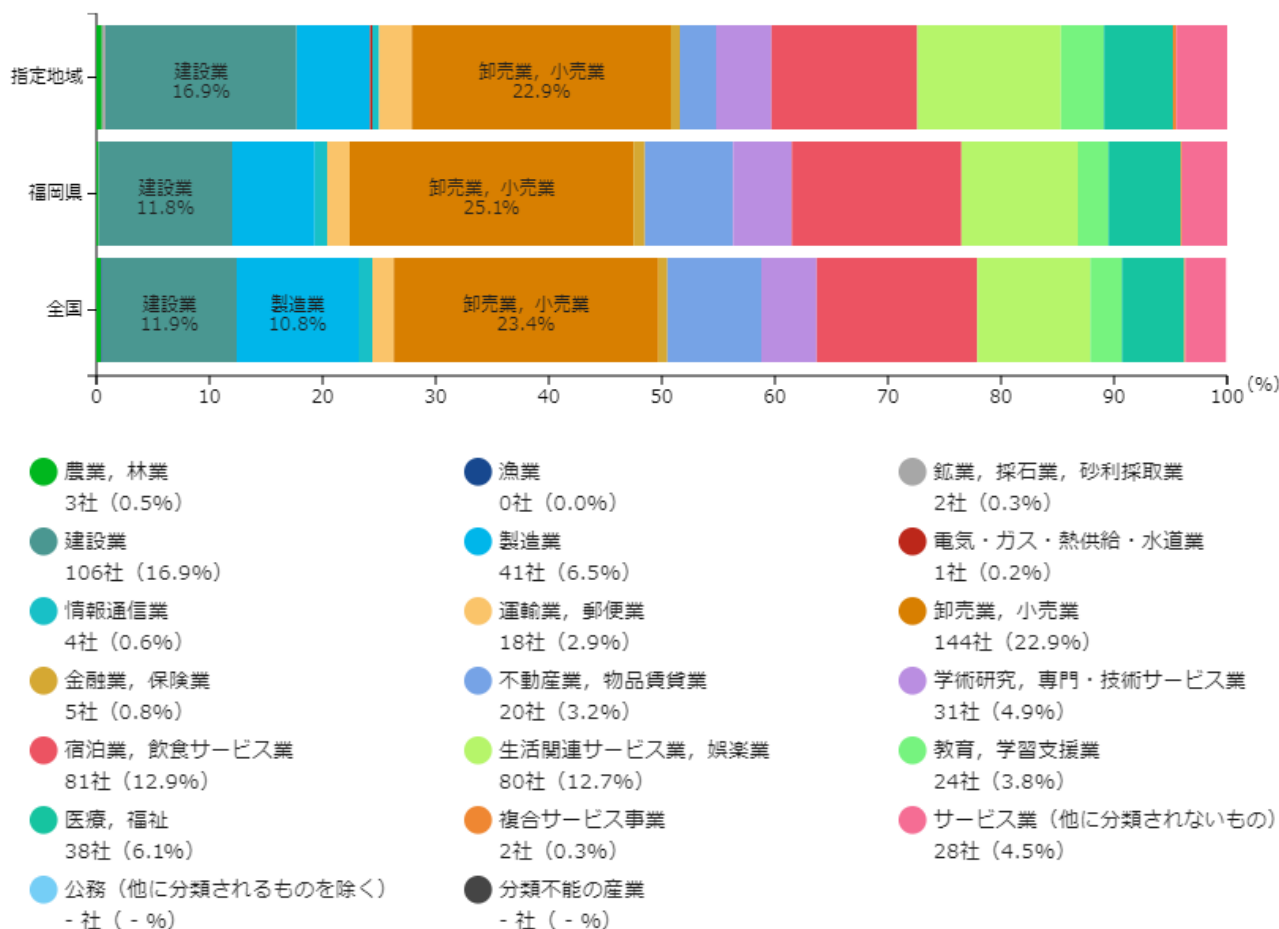


- ・回答企業の業種については、建設業と小売業がもっとも多く(25%程度)、次いでサービス業の順であり、飲食業と製造業が続きます。
- ・組織形態として個人事業者が約46%、法人が43%程度。また従業員数は5人以下が約7割弱、業歴は20年以上が約60%となっています。

【参考】

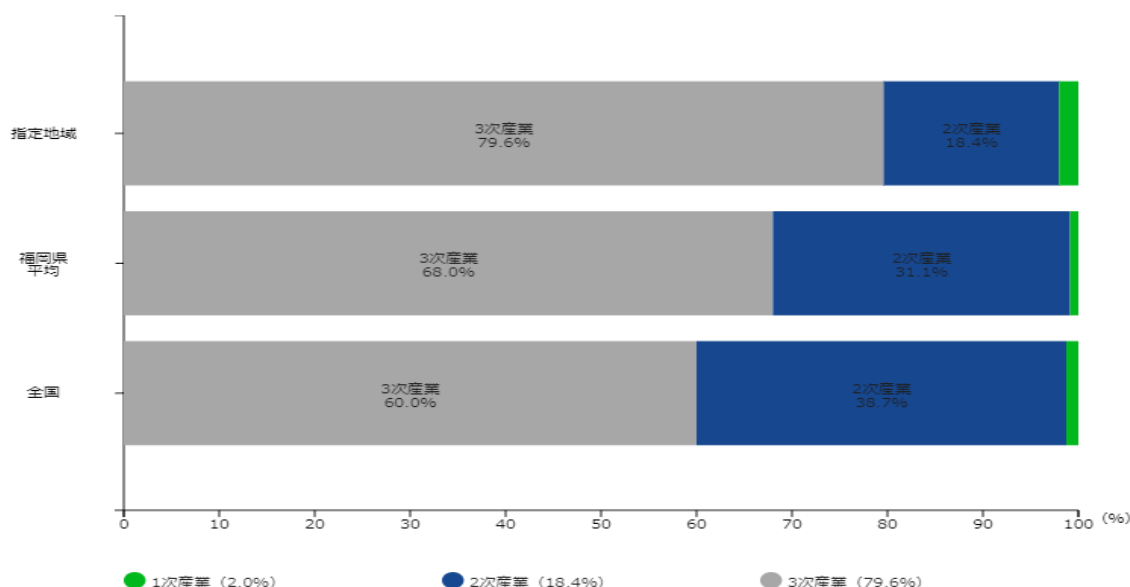
企業数(企業単位) 2014年

指定地域：福岡県岡垣町



(出典:総務省「経済センサスー基礎調査」RESAS再編加工、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」RESAS再編加工)

【参考】岡垣町 地域内産業の構成割合(生産額(総額)) 2013年

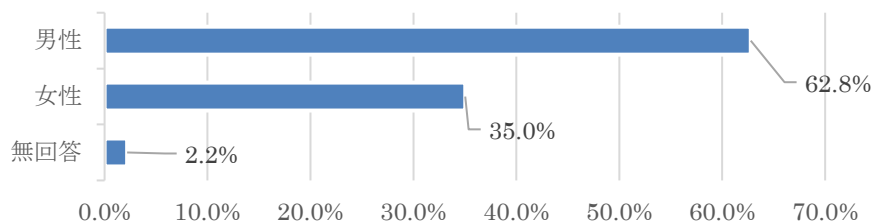


(出典:環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成))

(5) 回答者

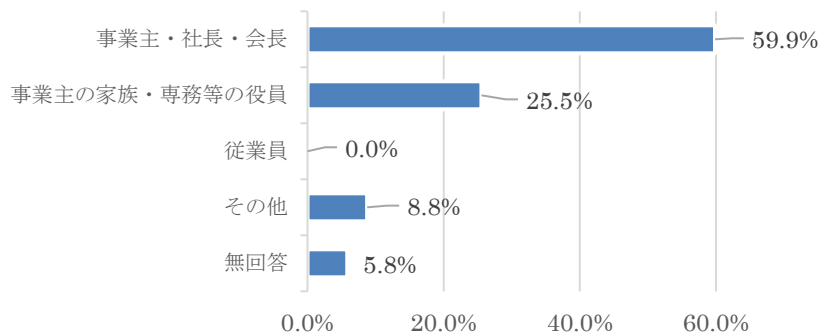
(5)-1 性別

項目	回答数	比率
男性	86	62.8%
女性	48	35.0%
無回答	3	2.2%
合計	137	100.0%



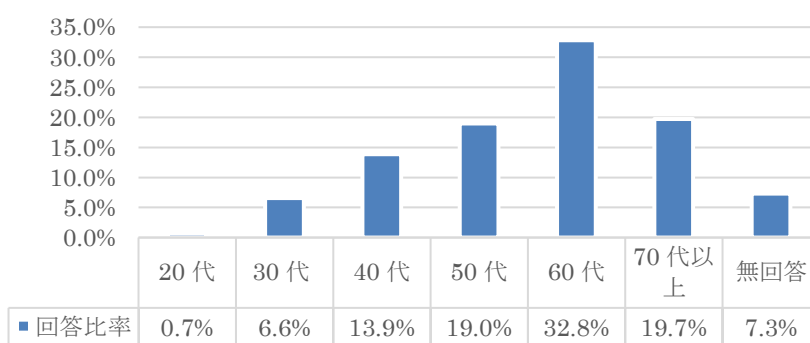
(5)-2 役職

項目	回答数	比率
事業主・社長・会長	82	59.9%
事業主の家族・専務等の役員	35	25.5%
従業員	0	0.0%
その他	12	8.8%
無回答	8	5.8%
合計	137	100.0%



(5)-3 年代

項目	回答数	比率
20代	1	0.7%
30代	9	6.6%
40代	19	13.9%
50代	26	19.0%
60代	45	32.8%
70代以上	27	19.7%
無回答	10	7.3%
合計	137	100.0%



- ・回答者は、男性が約6割となっており、役職は事業主・社長・会長が約60%となっています。
- ・年齢は60代と70代以上が合わせて半数以上(52.5%)を占めます。50代も含めると70%を超えています。

【参考】

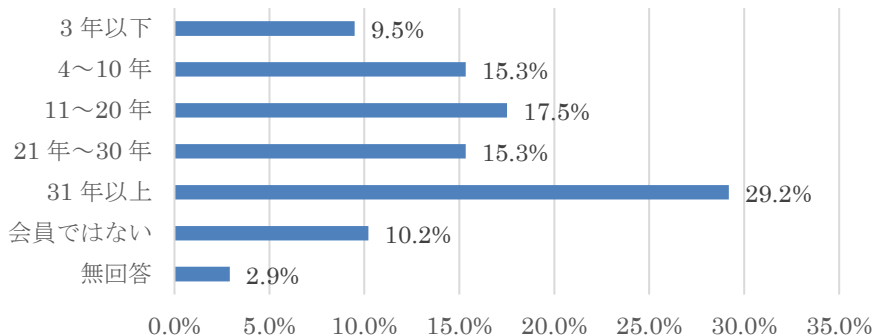


(出典;東京商工リサーチ 2016年 全国社長の年齢調査)

2. 商工会への加入、商工会の事業活動について、お伺いいたします。

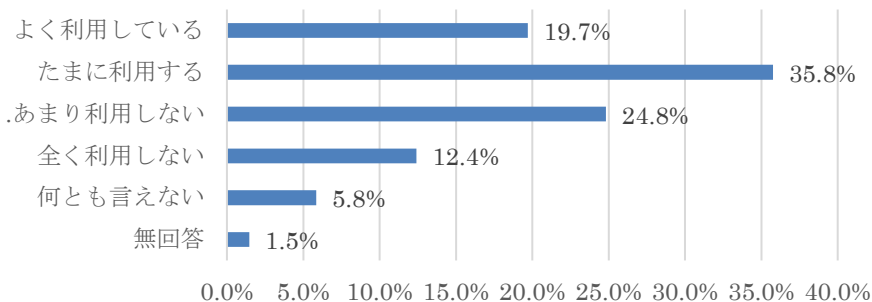
①商工会の会員になって何年になりますか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
3年以下	13	9.5%
4～10年	21	15.3%
11～20年	24	17.5%
21年～30年	21	15.3%
31年以上	40	29.2%
会員ではない	14	10.2%
無回答	4	2.9%
合計	137	100.0%



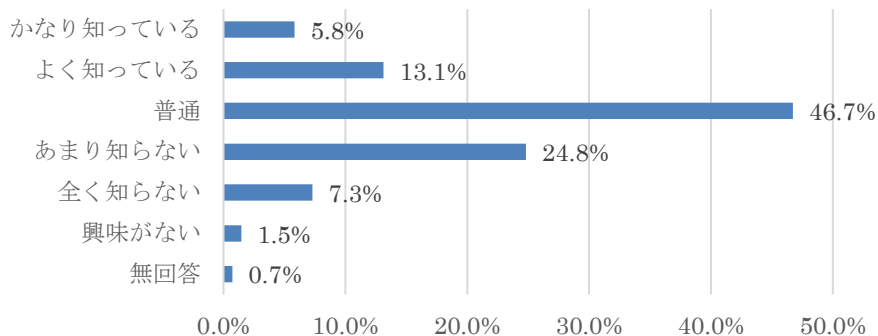
②日頃から商工会をご利用されていますか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
よく利用している	27	19.7%
たまに利用する	49	35.8%
あまり利用しない	34	24.8%
全く利用しない	17	12.4%
何とも言えない	8	5.8%
無回答	2	1.5%
合計	137	100.0%



③商工会の事業活動(サービス内容)をご存知ですか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
かなり知っている	8	5.8%
よく知っている	18	13.1%
普通	64	46.7%
あまり知らない	34	24.8%
全く知らない	10	7.3%
興味がない	2	1.5%
無回答	1	0.7%
合計	137	100.0%

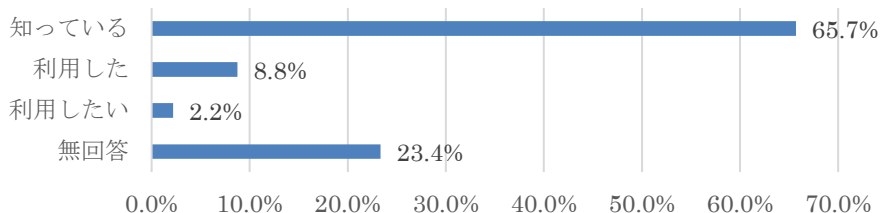


- ・商工会の会員年数は、特に31年以上の会員が約30%と多い一方、3年以下の会員がやや少ない割合です。
- ・商工会の利用については、「よく利用している」「たまに利用する」が、あわせて55%である一方、「あまり利用しない」「全く利用しない」は、あわせて40%弱となっています。
- ・商工会の事業活動については、「かなり知っている」「よく知っている」が18.9%、「普通」が46.7%、「あまり知らない」「全く知らない」「興味がない」が、33.6%となっています。

④商工会の事業活動(サービス内容)について「知っている」「利用したことがある」「今後利用したい」ものについてお答えください。[該当するもの全てに○印を付けてください]

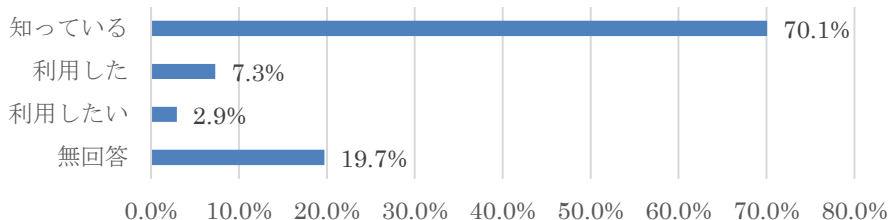
(経営・労務・経営革新・創業・取引等の相談)

項目	回答数	比率
知っている	90	65.7%
利用した	12	8.8%
利用したい	3	2.2%
無回答	32	23.4%
合計	137	100.0%



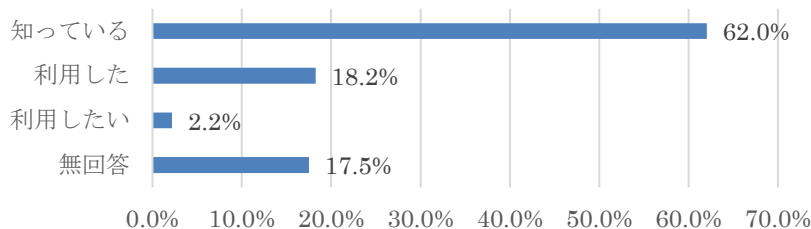
専門相談(弁護士・税理士などの専門家による相談)

項目	回答数	比率
知っている	96	70.1%
利用した	10	7.3%
利用したい	4	2.9%
無回答	27	19.7%
合計	137	100.0%



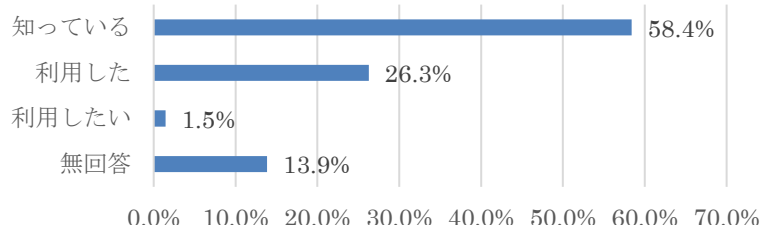
記帳相談(記帳・確定申告の相談、記帳代行サービス)

項目	回答数	比率
知っている	85	62.0%
利用した	25	18.2%
利用したい	3	2.2%
無回答	24	17.5%
合計	137	100.0%



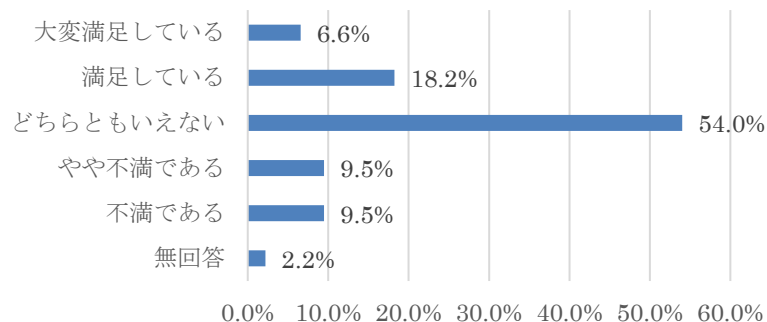
融資相談(マル経・県制度融資・政府系制度融資の相談・斡旋)

項目	回答数	比率
知っている	80	58.4%
利用した	36	26.3%
利用したい	2	1.5%
無回答	19	13.9%
合計	137	100.0%



⑤現在、商工会が行っている事業活動に満足していますか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
大変満足している	9	6.6%
満足している	25	18.2%
どちらともいえない	74	54.0%
やや不満である	13	9.5%
不満である	13	9.5%
無回答	3	2.2%
合計	137	100.0%



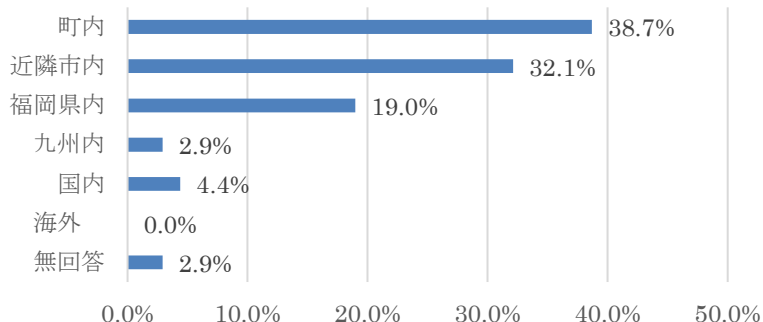
・商工会の事業の各内容については、各項目において「知っている」は、それぞれ約 60～70%であるのに対し、実際に「利用した」は、7～26%でした。「利用したい」は 1～3%のため、商工会の利用を希望した方は、比較的 希望通りに多く利用されていることがわかります。

・事業活動の満足度については、「大変満足」「満足」で約 25%であり、「どちらともいえない」が 54%、「やや不満」「不満」が 19%となっています。

3.貴事業所について、お伺いいたします。

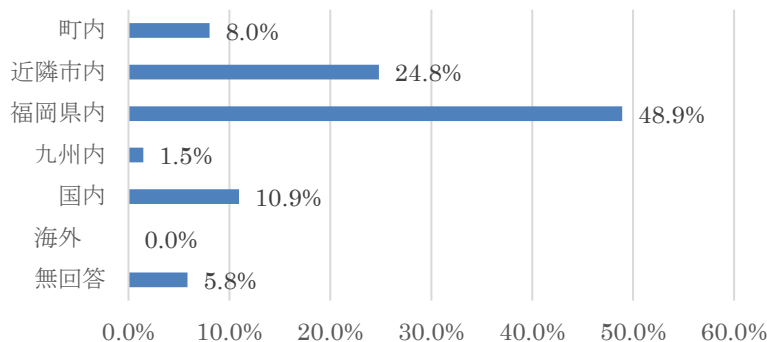
①主な販売先はどちらの地域ですか。[該当1つに○印]

項目	回答数	比率
町内	53	38.7%
近隣市内	44	32.1%
福岡県内	26	19.0%
九州内	4	2.9%
国内	6	4.4%
海外	0	0.0%
無回答	4	2.9%
合計	137	100.0%



②主な仕入先はどちらの地域ですか。[該当1つに○印]

項目	回答数	比率
町内	11	8.0%
近隣市内	34	24.8%
福岡県内	67	48.9%
九州内	2	1.5%
国内	15	10.9%
海外	0	0.0%
無回答	8	5.8%
合計	137	100.0%



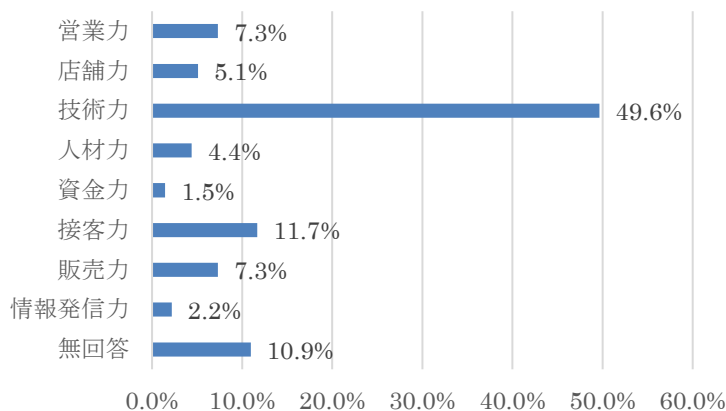
・主に福岡県内、岡垣町、近隣市内から仕入れを行い、岡垣町内および近隣市内へ販売を行っていることがわかります。

一方、福岡県内への販売は19%、また九州内・国内への販売は合わせて7.3%という結果になっております。海外については取引がみられませんでした。

結果として、販売先が福岡県内に集中しており、まだ販路開拓の余地がある事業者も多いと考えられます。

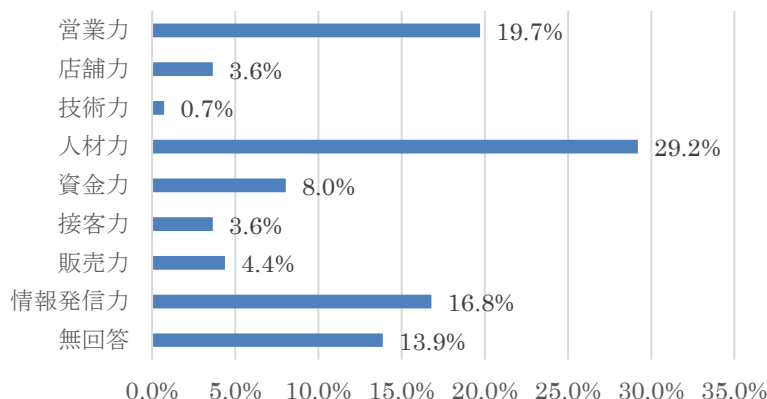
③貴事業所のセールスポイントは何ですか[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
営業力	10	7.3%
店舗力	7	5.1%
技術力	68	49.6%
人材力	6	4.4%
資金力	2	1.5%
接客力	16	11.7%
販売力	10	7.3%
情報発信力	3	2.2%
無回答	15	10.9%
合計	137	100.0%



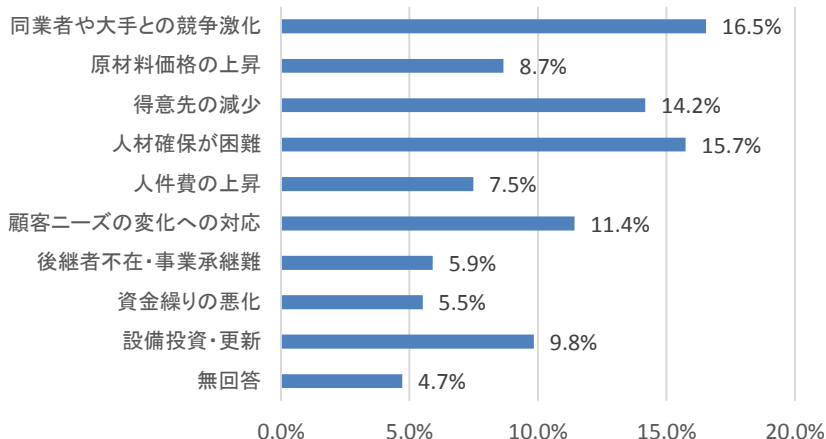
④貴事業所の弱みは何ですか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
営業力	27	19.7%
店舗力	5	3.6%
技術力	1	0.7%
人材力	40	29.2%
資金力	11	8.0%
接客力	5	3.6%
販売力	6	4.4%
情報発信力	23	16.8%
無回答	19	13.9%
合計	137	100.0%



⑤現在抱えている経営上の課題は何ですか。

項目	回答数	比率
同業者や大手との競争激化	42	16.5%
原材料価格の上昇	22	8.7%
得意先の減少	36	14.2%
人材確保が困難	40	15.7%
人件費の上昇	19	7.5%
顧客ニーズの変化への対応	29	11.4%
後継者不在・事業承継難	15	5.9%
資金繰りの悪化	14	5.5%
設備投資・更新	25	9.8%
無回答	12	4.7%
合計	254	100.0%

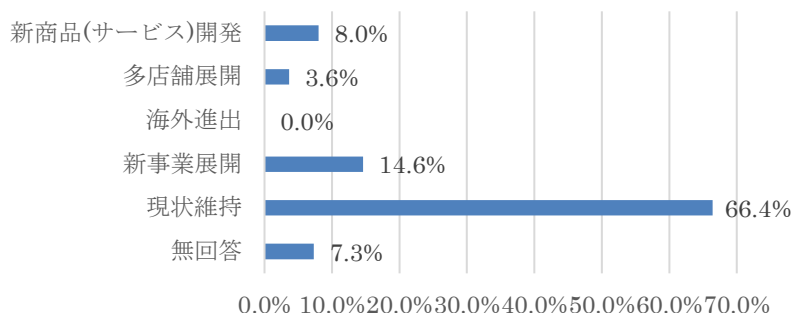


※回答数 137 件、複数回答があるため数値差あり

- ・全業種とも、セールスポイントを「技術力」とあげる事業所が、約半数を占めました。特に個人事業、20人以下の事業所にその傾向がみられました。
 - ・事業所に不足している点は、全般的に人材力、営業力、情報発信力が目立ちました。特に建設業や運輸業などでは人材力、また建設業や製造業などで営業力が不足しているとの結果が出ています。
 - ・経営上の課題として、1位「大手との競争の激化」、2位「人材確保が困難」、3位「得意先の減少」、4位「顧客ニーズの変化への対応」を挙げるところが多くみられました。
 - ・福岡県商工会連合会が平成24年度に実施した商工会会員実態調査の岡垣町商工会に対するクロス分析において、現在抱えている経営上の問題では1位が「原材料価格の上昇、コストの増加」であり、2位は「販売価格の低下・上昇難」、3位は「同業者や大手企業との競争の激化」「人材確保難や人件費の高騰」など景気の上昇とそれに伴うコスト高や競争激化が大きな課題となっています。
- 今回のアンケートでは、回答項目はほぼ同じであるものの、特に「人材の確保」を課題とする事業者が多い状況です。従業員の高齢化による退職を補うべき若年層人材が確保困難な状況になっていることが見てとれることから、今後は、より一層の人材確保のための状況提供、各種の支援が必要と思われます。

⑥今後の事業について、新たな取組みは考えられていますか。

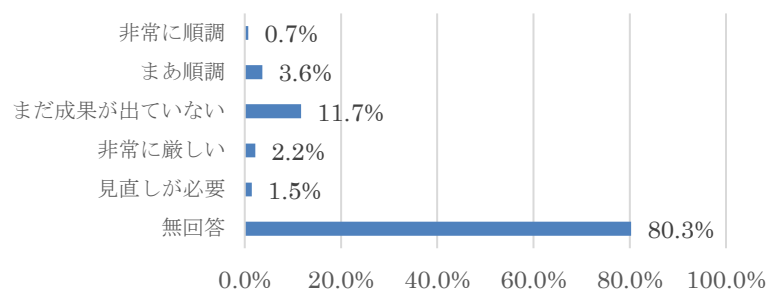
項目	回答数	比率
新商品(サービス)開発	11	8.0%
多店舗展開	5	3.6%
海外進出	0	0.0%
新事業展開	20	14.6%
現状維持	91	66.4%
無回答	10	7.3%
合計	137	100.0%



⑦すでに新規事業に取り組まれている方にお聞きします。

新規事業の業績はいかがですか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
非常に順調	1	0.7%
まあ順調	5	3.6%
まだ成果が出ていない	16	11.7%
非常に厳しい	3	2.2%
見直しが必要	2	1.5%
無回答	110	80.3%
合計	137	100.0%

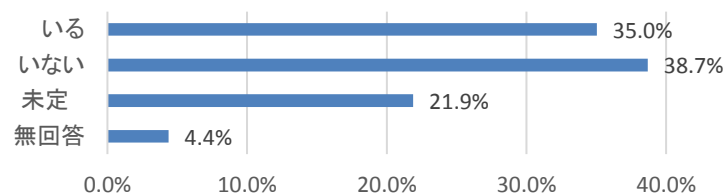


・事業について、何らかの新たな取組みを考えている事業所は、約25%でした。一方、現状維持を望む事業所は約66%でした。しかし、社会・経済状況の変化が激しい中で、純粋に現状維持は難しいと思われます。必ずしも新事業展開である必要はありませんが、何らかの経営改善、もしくは向上に取り組む必要はあると考えられます。

・すでに新規事業を行っている事業所のなかで、順調な事業所は4%存在します。他方、まだ成果は出ていない、厳しいなど試行錯誤している事業所は15%程度となっていることから、今後は商工会として事業の成果につながる具体的な支援のあり方を検討してまいります。

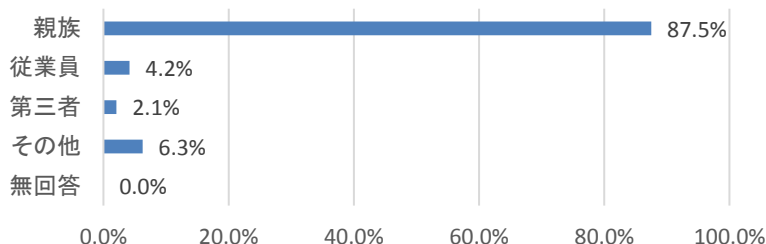
⑧後継者はいらっしゃいますか。

項目	回答数	比率
いる	48	35.0%
いない	53	38.7%
未定	30	21.9%
無回答	6	4.4%



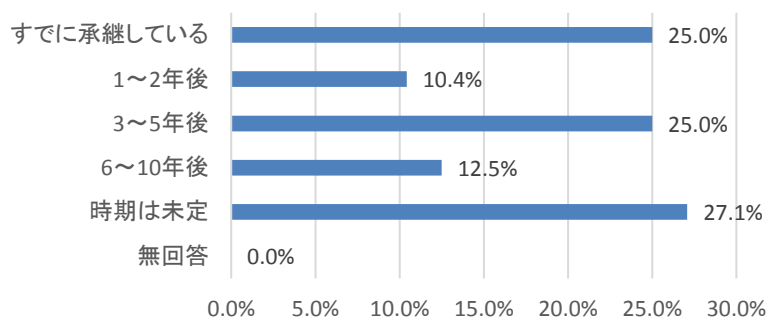
⑨「いる」とお答えいただいた方にお聞きします。事業承継される方は具体的に決まっていますか。

項目	回答数	比率
親族	42	87.5%
従業員	2	4.2%
第三者	1	2.1%
その他	3	6.3%
無回答	0	0.0%
合計	48	100.0%



⑩事業承継の時期は予定されていますか。

項目	回答数	比率
すでに承継している	12	25.0%
1～2年後	5	10.4%
3～5年後	12	25.0%
6～10年後	6	12.5%
時期は未定	13	27.1%
無回答	0	0.0%
合計	48	100.0%

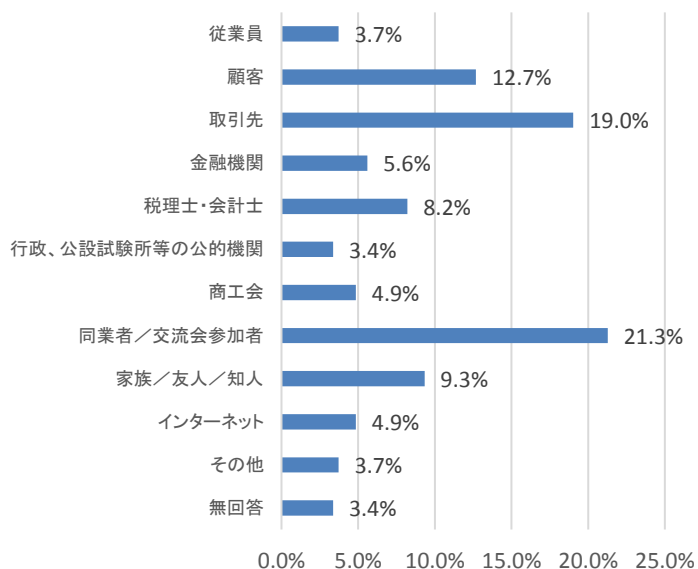


・事業承継については、「後継者がいる」が 35%、「後継者がいない」「未定」が 60%となっています。一方、事業承継の時期については、「すでに承継している」25%に対し、5 年後までが 25%であり、6年後以降または未定が 40%となっています。既述のとおり、業歴が長く、60代以上の経営者が現在もご活躍されています。この回答によると、次世代への承継を 5 年後までに実施したいと考える事業所が多いものの、後継者がいない又は未定という状態も見受けられます。

・承継を済ませている事業所は、ほぼ親族への承継ですが、反面で親族でなければ承継が進みづらいという側面もあるため、公的な事業承継支援の制度を使うことなども視野に入れた情報提供が必要と考えます。

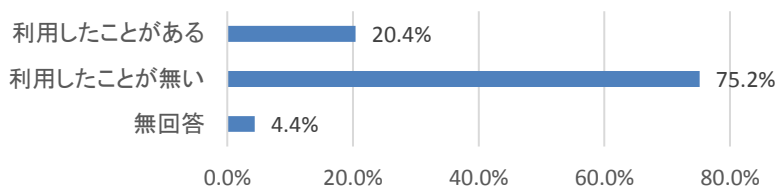
⑪貴事業所では、経営に役立つ情報は誰(どこ)から提供されることが多いですか。[該当するものそれぞれ 3 つ以内]

項目	回答数	比率
従業員	10	3.7%
顧客	34	12.7%
取引先	51	19.0%
金融機関	15	5.6%
税理士・会計士	22	8.2%
行政、公設試験所等の公的機関	9	3.4%
商工会	13	4.9%
同業者／交流会参加者	57	21.3%
家族／友人／知人	25	9.3%
インターネット	13	4.9%
その他	10	3.7%
無回答	9	3.4%
合計	268	100.0%



⑫貴事業所では、国や都道府県などが実施する小規模事業者に対する支援策を、利用したことがありますか。

項目	回答数	比率
利用したことがある	28	20.4%
利用したことが無い	103	75.2%
無回答	6	4.4%
合計	137	100.0%

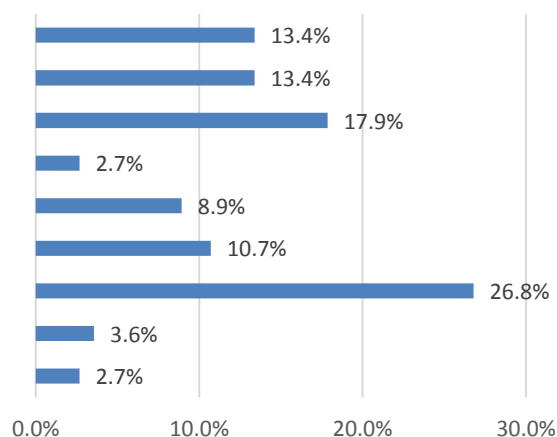


⑬ 問⑫で、「1.利用したことがある」を選択の方のみお答え下さい。「利用したことがある」のは、どのような支援策ですか。

- ・融資 ・事業資金の融資 ・セーフティネット ・日本政策金融公庫 ・制度融資
- ・農業関係の支援策
- ・雇用調整助成金 ・小規模事業者持続化補助金
- ・緊急経済対策資金 ・県中小企業団体中央会新連携の支援等 ・岡垣町事業資金
- ・小規模企業共済加入 ・中小企業退職金積立
- ・店舗力の向上 ・IT化と生産効率改善の指導等

⑭ 問⑫で、「2.利用したことがない」を選択の方のみお答え下さい。「利用したことがない」理由をお教えてください。

項目	回答数	比率
施策があることを知らなかった	15	13.4%
施策の内容やメリットが分からない	15	13.4%
どの施策が利用できるのかわからない	20	17.9%
相談先や手続きなど利用のしかたがわからない	3	2.7%
利用条件に合わなかった	10	8.9%
利用したい施策がなかった	12	10.7%
施策を必要としていない	30	26.8%
その他	4	3.6%
無回答	3	2.7%
合計	112	100.0%

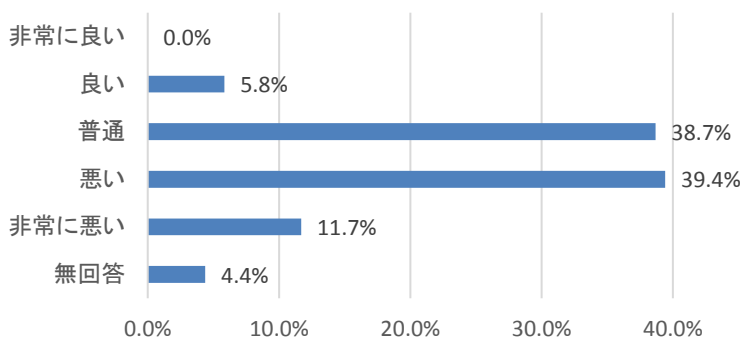


- ・小規模事業者の事業に関する情報の入手先については「同業者/交流会参加者」「取引先」が約20%であり、事業に関する情報の入手先はほぼ同業界からです。
- ・施策について、利用したことがあるのは20%程度となっています。一方、利用したことがない事業者のうち37%程度は、そもそも「施策を必要としていない」「利用したい施策がなかった」と回答されているが、約50%は、「施策を知らなかった」「内容やメリットがわからない」「利用の仕方がわからない」などであることから、施策を必要とする事業者の割合は多いと言えます。
- ・事業に関する情報は業界情報だけでなく、補助金や金融情勢など重要な情報も多くあることから、商工会からの情報を企業ニーズに合わせたかたちでの情報発信に加え、申請書の作成支援までの伴走型の支援を、よりきめ細かく行うことが必要と考えます。

4.貴事業所の感じられる景気などについて、お伺いいたします。

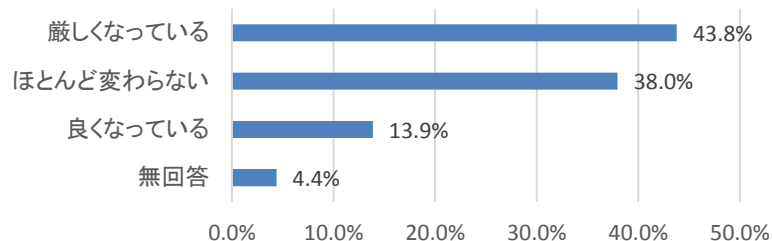
①貴事業所の属する地域の現在の景気はどう感じられますか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
非常に良い	0	0.0%
良い	8	5.8%
普通	53	38.7%
悪い	54	39.4%
非常に悪い	16	11.7%
無回答	6	4.4%
合計	137	100.0%



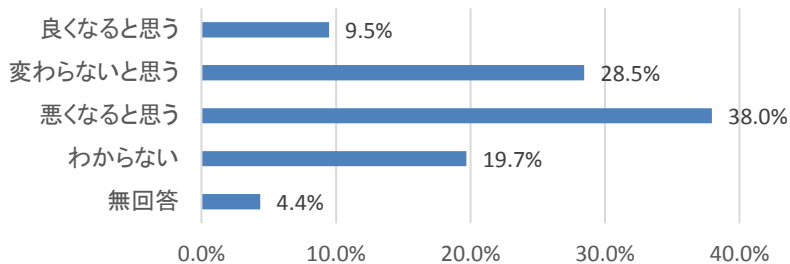
②貴事業所の今期の業績は、2～3年前と比べていかがですか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
厳しくなっている	60	43.8%
ほとんど変わらない	52	38.0%
良くなっている	19	13.9%
無回答	6	4.4%
合計	137	100.0%



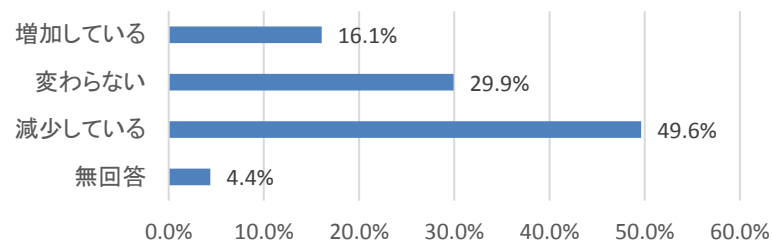
③2～3年後の事業の見通しはいかがですか。[該当するもの1つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
良くなると思う	13	9.5%
変わらないと思う	39	28.5%
悪くなると思う	52	38.0%
わからない	27	19.7%
無回答	6	4.4%
合計	137	100.0%



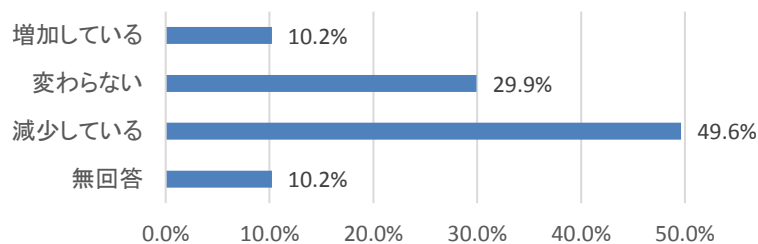
④昨期の同じ時期と比べて、売上高はどのような状況ですか。(前年同期比)

項目	回答数	比率
増加している	22	16.1%
変わらない	41	29.9%
減少している	68	49.6%
無回答	6	4.4%
合計	137	100.0%



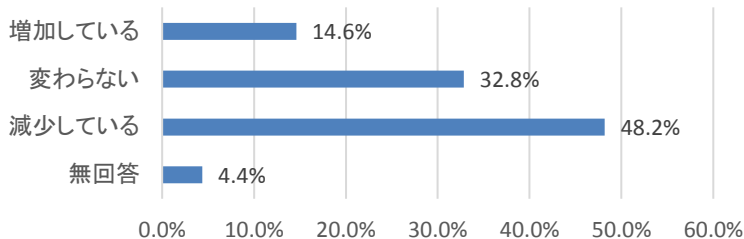
⑤昨期の同じ時期と比べて、販売数量はどのような状況ですか。（前年同期比）

項目	回答数	比率
増加している	14	10.2%
変わらない	41	29.9%
減少している	68	49.6%
無回答	14	10.2%
合計	137	100.0%

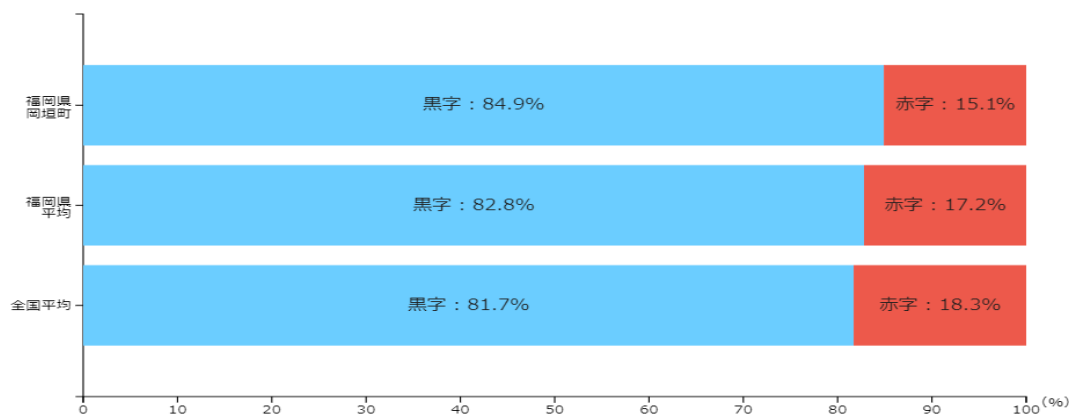


⑥昨期の同じ時期と比べて、経常利益はどのような状況ですか。（前年同期比）

項目	回答数	比率
増加している	20	14.6%
変わらない	45	32.8%
減少している	66	48.2%
無回答	6	4.4%
合計	137	100.0%



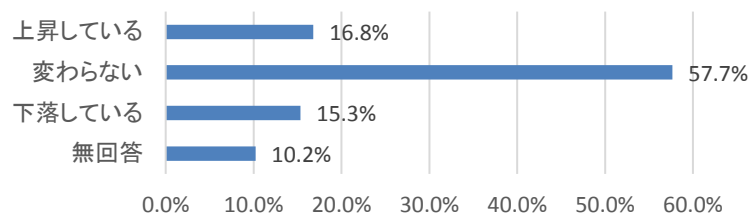
【参考】黒字赤字企業比率 2012年



（出典：総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」RESAS再編加工）

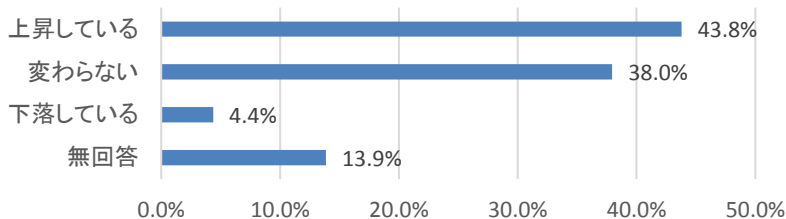
⑦昨期と比べて、製(商)品単価はどのような状況ですか。（前年比）

項目	回答数	比率
上昇している	23	16.8%
変わらない	79	57.7%
下落している	21	15.3%
無回答	14	10.2%
合計	137	100.0%



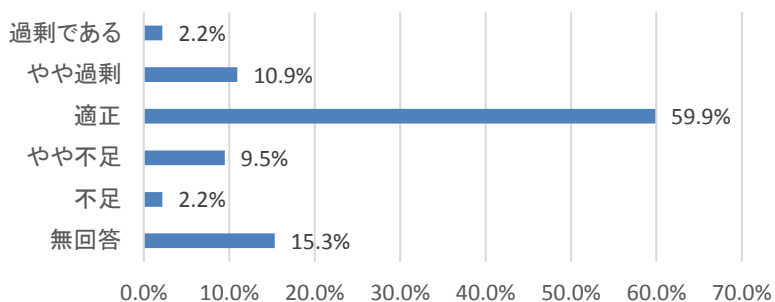
⑧昨期と比べて、原材料(仕入)価格はどのような状況ですか。（前年比）

項目	回答数	比率
上昇している	60	43.8%
変わらない	52	38.0%
下落している	6	4.4%
無回答	19	13.9%
合計	137	100.0%



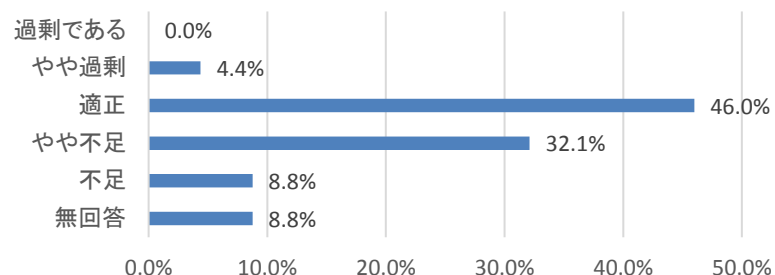
⑨ 昨期と比べて、製(商)品在庫はどのような状況ですか。(今期状況)

項目	回答数	比率
過剰である	3	2.2%
やや過剰	15	10.9%
適正	82	59.9%
やや不足	13	9.5%
不足	3	2.2%
無回答	21	15.3%
合計	137	100.0%



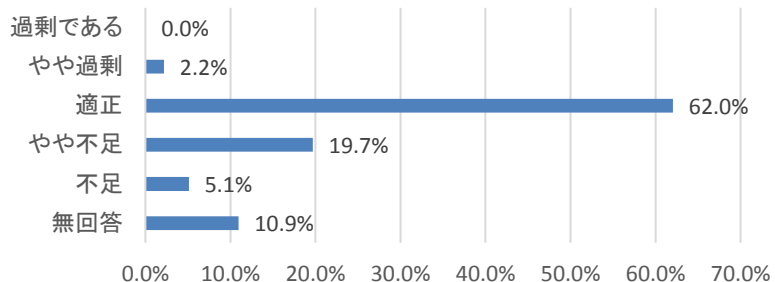
⑩ 昨期と比べて、労働力はどのような状況ですか。(今期状況)

項目	回答数	比率
過剰である	0	0.0%
やや過剰	6	4.4%
適正	63	46.0%
やや不足	44	32.1%
不足	12	8.8%
無回答	12	8.8%
合計	137	100.0%



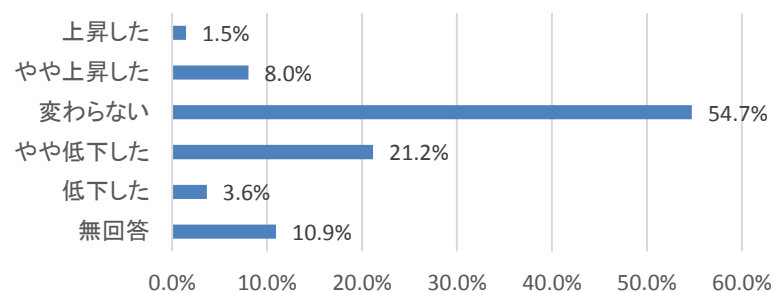
⑪ 昨期と比べて、生産・営業用設備はどのような状況ですか。(今期状況)

項目	回答数	比率
過剰である	0	0.0%
やや過剰	3	2.2%
適正	85	62.0%
やや不足	27	19.7%
不足	7	5.1%
無回答	15	10.9%
合計	137	100.0%



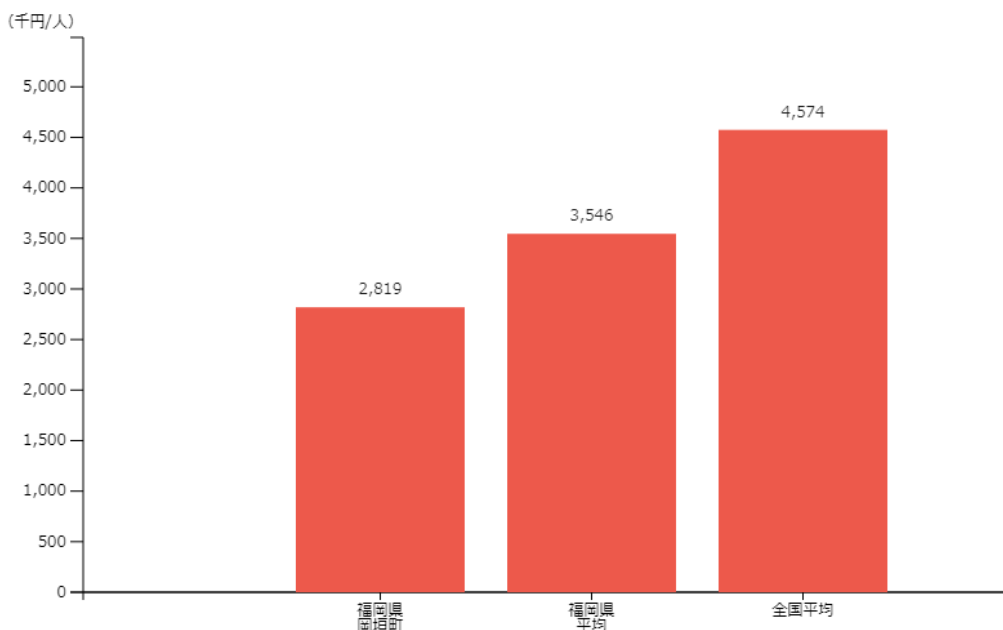
⑫ 昨期と比べて、生産・営業用設備の稼働率はどのような状況ですか。(今期状況)

項目	回答数	比率
上昇した	2	1.5%
やや上昇した	11	8.0%
変わらない	75	54.7%
やや低下した	29	21.2%
低下した	5	3.6%
無回答	15	10.9%
合計	137	100.0%



- ・岡垣町の景気に関しては普通 38.7%、悪い 39.4%。特に小売・卸・サービス業などの第三次産業が悪いと感じています。
- ・今期業績は、約 40%が厳しいと回答されています。(特に小売・飲食・サービス業)
- ・2～3 年後の見通しは、約 40%が「悪くなる」という意見の一方、約 30%が「変わらない」と見えています。
- ・昨期と比べた売上高、および販売数量は、ほぼ同じ回答で約 30%が「変わらない」、約5割が「減少している」と、厳しい状況です。結果として経常利益も同様の回答結果となっています。
- ・昨期と比べた製(商)品単価は、約 75%が「変わらない」「下落」という回答に対して、原材料(仕入)価格が「上昇」「変わらない」が約 80%であることから、事業者の多くが粗利益の減少に直面していると推測されます。
- ・労働力については、約4割の事業者が不足と感じています。これは単に労働者の数だけでなく、下記経済センサスのグラフに表れている「岡垣町の労働生産性」の水準にも起因しているものと考えられます。

【参考】労働生産性(企業単位) 2012 年 (付加価値額÷従業員数で算出)

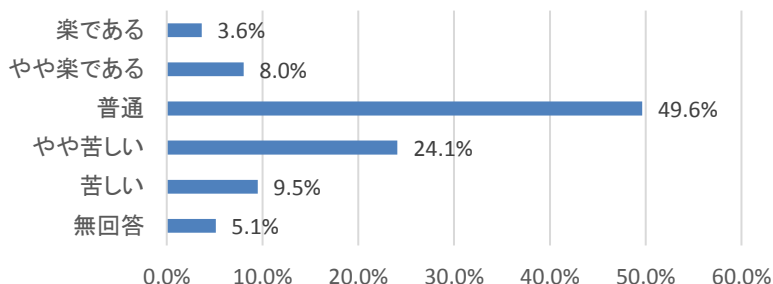


(出典:総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサスー活動調査」RESAS再編加工)

5.貴事業所の感じられる資金調達や設備投資、製品・商品などについて、お伺いいたします。

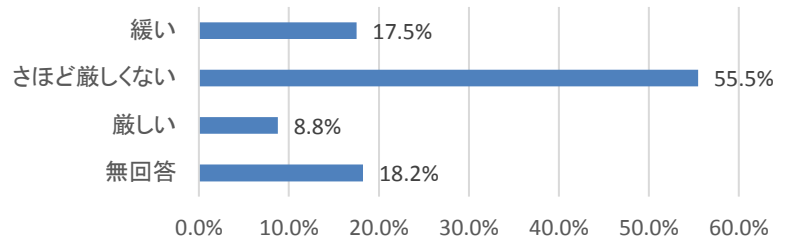
①昨期と比べて、資金繰りはどのような状況ですか。(今期状況)

項目	回答数	比率
楽である	5	3.6%
やや楽である	11	8.0%
普通	68	49.6%
やや苦しい	33	24.1%
苦しい	13	9.5%
無回答	7	5.1%
合計	137	100.0%



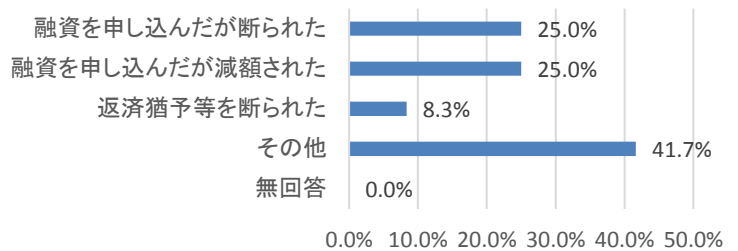
②昨期と比べて、金融機関はどのような対応ですか。(今期状況)

項目	回答数	比率
緩い	24	17.5%
さほど厳しくない	76	55.5%
厳しい	12	8.8%
無回答	25	18.2%
合計	137	100.0%



③(②で「3.厳しい」と答えられた方のみご回答ください) 金融機関の対応を厳しいと感じる理由をお教えてください。

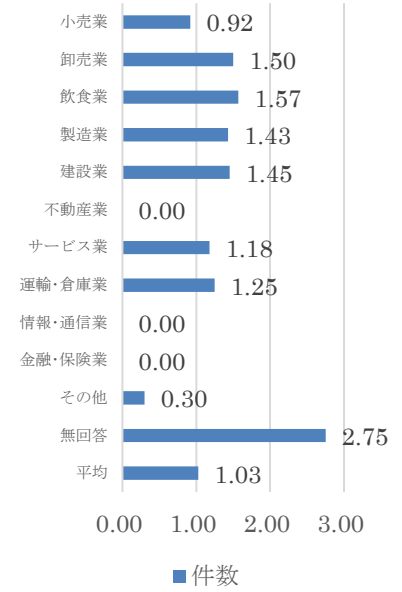
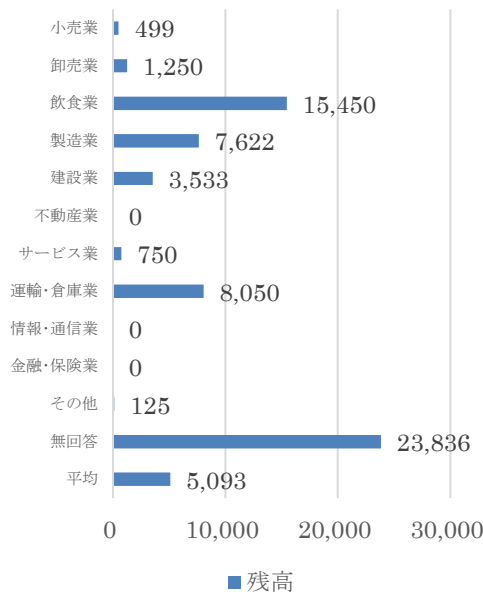
項目	回答数	比率
融資を申し込んだが断られた	3	25.0%
融資を申し込んだが減額された	3	25.0%
返済猶予等を断られた	1	8.3%
その他	5	41.7%
無回答	0	0.0%
合計	12	100.0%



④現在の借入金残高はどれくらいですか。(今期状況)

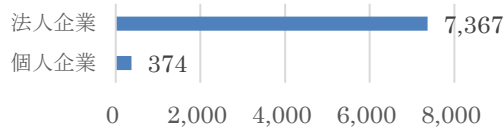
⑤現在の借入件数(利用金融機関)は、何社ほどありますか。(今期状況)

項目	残高	件数
小売業	499	0.92
卸売業	1,250	1.50
飲食業	15,450	1.57
製造業	7,622	1.43
建設業	3,533	1.45
不動産業	0	0.00
不動産業	0	0.00
サービス業	750	1.18
運輸・倉庫業	8,050	1.25
情報・通信業	0	0.00
情報・通信業	0	0.00
金融・保険業	0	0.00
金融・保険業	0	0.00
その他	125	0.30
その他	125	0.30
無回答	23,836	2.75
無回答	23,836	2.75
平均	5,093	1.03
平均	5,093	1.03



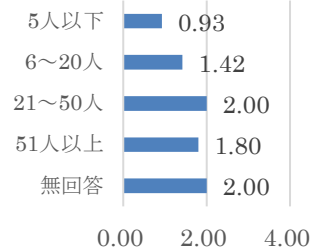
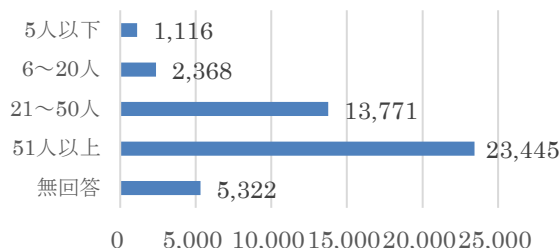
経営形態別

項目	残高	件数
個人企業	374	0.90
個人企業	374	0.90
法人企業	7,367	1.48
法人企業	7,367	1.48



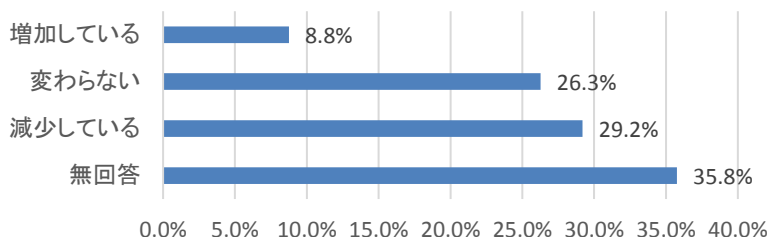
従業員数別

項目	残高	件数
5人以下	1,116	0.93
5人以下	1,116	0.93
6~20人	2,368	1.42
6~20人	2,368	1.42
21~50人	13,771	2.00
21~50人	13,771	2.00
51人以上	23,445	1.80
51人以上	23,445	1.80
無回答	5,322	2.00
無回答	5,322	2.00



⑥昨期と比べて、借入残高はどのような状況ですか。（今期状況）

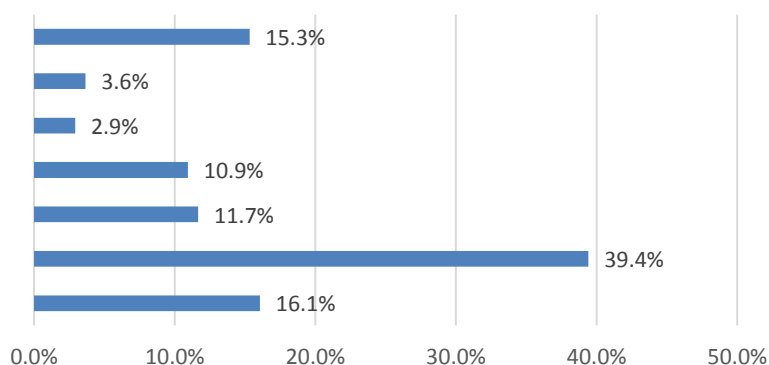
項目	回答数	比率
増加している	12	8.8%
変わらない	36	26.3%
減少している	40	29.2%
無回答	49	35.8%
合計	137	100.0%



- ・資金繰りについては、3社に1社が「苦しい」「やや苦しい」と回答されており、「厳しい」と回答した事業者の約6割が、「融資を断られた」「応じられたが減額された」など、希望通りの対応を受けられなかった事実が見てとれます。
- ・借入残高、利用金融機関件数は、各事業者の業種による特徴は出ていますが、経営形態、従業員数、そのた状況により異なるため、各事業者に応じた情報の提供が必要と思われます。
- ・売上げが厳しいなか、借入金が減少している事業者が約30%となっており、大半の事業者は資金繰りが厳しいなかで、返済額の捻出に苦労している様子が伺えます。

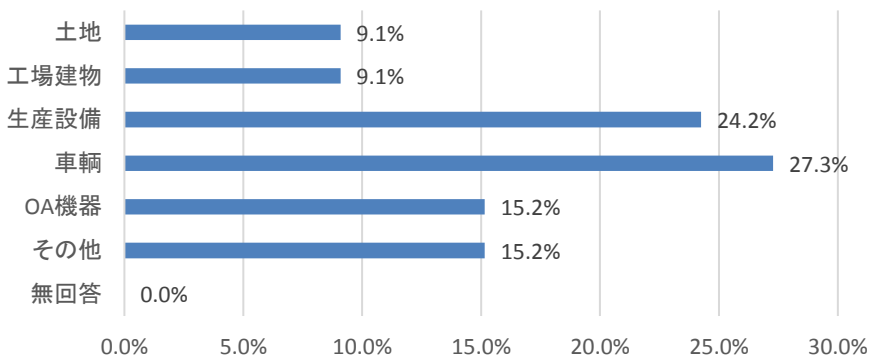
⑦設備投資・更新について、実施をお考えの時期はいつくらいですか。[1 つに○印を付けてください]

項目	回答数	比率
すでに行っている	21	15.3%
半年以内に行う予定	5	3.6%
1年以内に行う予定	4	2.9%
2～3年以内に行う予定	15	10.9%
実施したいが 資金の目途が立っていない	16	11.7%
未定	54	39.4%
無回答	22	16.1%
合計	137	100.0%



⑧ 問⑦で、「1.すでに行っている」を選択の方のみお答え下さい。「既に行っている」のは、どのような設備ですか。

項目	回答数	比率
土地	3	9.1%
工場建物	3	9.1%
生産設備	8	24.2%
車輛	9	27.3%
OA 機器	5	15.2%
その他	5	15.2%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%



・設備投資・更新については、業種により違いが出ています。

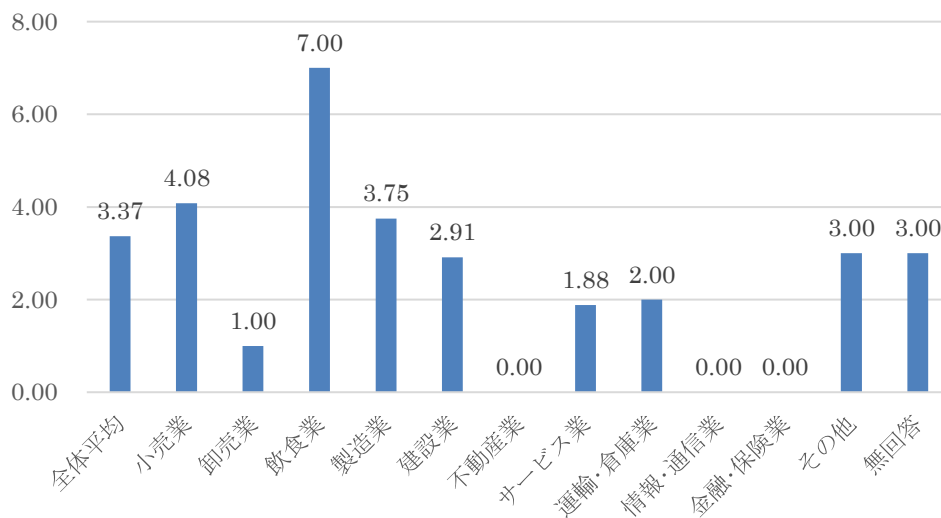
積極的(すでに行っている、半年以内、1年以内予定)なのは、製造業と建設業。ともに事業のためには積極的な設備投資が必須である業種です。

消極的もしくは難しい(2~3年以内予定、資金のめどが立っていない、未定)のは、小売・卸、飲食、サービス業です。特に個人企業、または従業員5人以下の企業は、設備投資・更新に消極的もしくは難しい傾向があり、公的支援による解決の必要性が感じられます。

・なお、設備投資・更新の対象としては、建築業の車両、製造業の生産設備が多くなっています。

⑨現在の主力商品は、何種類ほどありますか。(今期状況)

項目	種類
全体平均	3.37
小売業	4.08
卸売業	1.00
飲食業	7.00
製造業	3.75
建設業	2.91
不動産業	-
サービス業	1.88
運輸・倉庫業	2.00
情報・通信業	-
金融・保険業	-
その他	3.00
無回答	3.00



⑩ ⑨の主力商品を、具体的に教えてください。

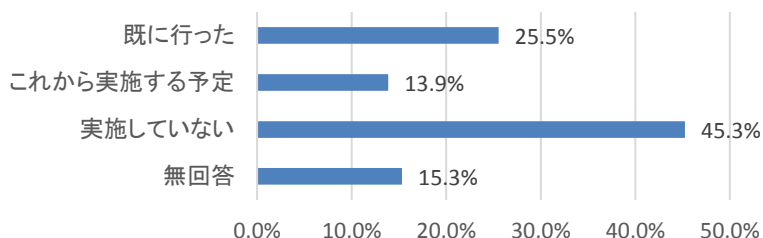
・50程度の企業、事業所から売れ筋商品の情報提供をいただきました。特徴的であったのが、企業、事業所によって売れ筋商品の具体的な商品名・サービスまで記載されている企業があれば、逆に漠然とした商材の記載にとどまっている企業など様々でした。

・本アンケートでは、各企業の詳細な売れ筋の検証まではできておりませんが、より具体的に売れ筋商品・サービスを記載されている企業は、その実態を把握され、販売の対策もされているのではないかと推測されます。

6.貴事業所の感じられる雇用環境や、経営課題などについて、お伺いいたします。

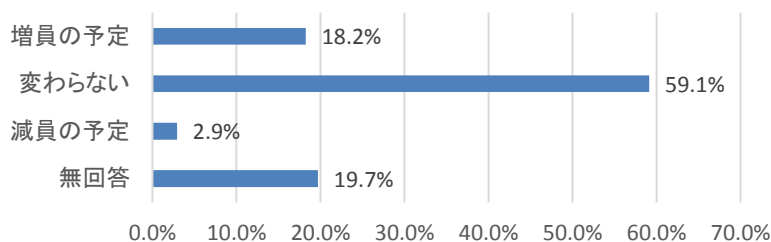
⑪賃上げについてお教えてください。

項目	回答数	比率
既に行った	35	25.5%
これから実施する予定	19	13.9%
実施していない	62	45.3%
無回答	21	15.3%
合計	137	100.0%



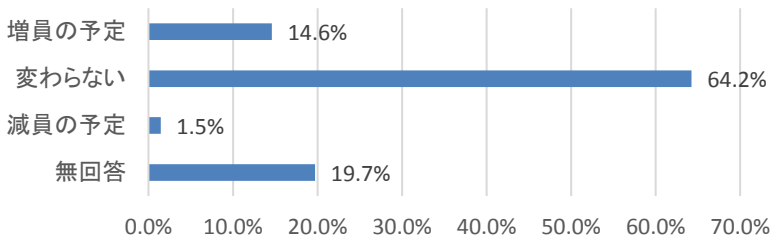
⑫正社員等の 正規従業員の雇用の予定があれば、お教えてください。

項目	回答数	比率
増員の予定	25	18.2%
変わらない	81	59.1%
減員の予定	4	2.9%
無回答	27	19.7%
合計	137	100.0%



⑬アルバイト・パート社員等の 非正規従業員の雇用の予定があれば、お教えてください。

項目	回答数	比率
増員の予定	20	14.6%
変わらない	88	64.2%
減員の予定	2	1.5%
無回答	27	19.7%
合計	137	100.0%



・今年度は最低賃金の改定実施の影響もあり、賃上げをすでに行ったとする事業所が約 25%ありました。これから実施する事業所も合わせると、約 40%が賃上げを実施することになります。特に小売、サービス、製造業が多く実施しています。労働力不足もあり、人材確保のため、賃金を上昇せざるをえない側面もあります。

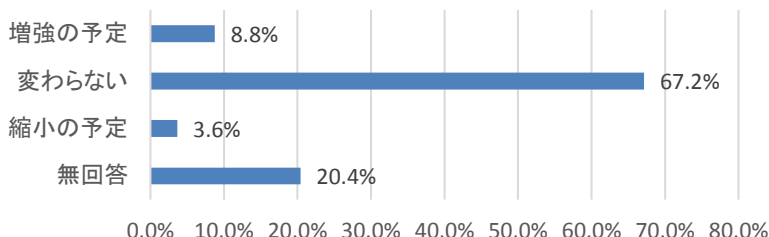
一方、実施していない企業も 45%程度ありますが、これは既に水準以上の賃金を定めているためと推測されます。

・雇用については、正規・非正規社員の雇用は、約 60%が「変わらない」との回答でした。「減員」の回答は 3%程度でした。

増員を計画する事業所は、正規雇用は建設業、運輸・倉庫業が多い結果となっています。一方、非正規雇用は、建設業、運輸倉庫業に加え、小売、サービス業が多い結果となっています。

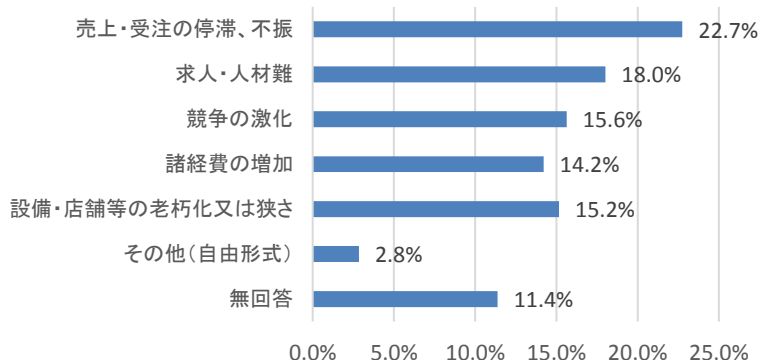
⑭生産・営業用設備に関する予定があれば、お教えてください。

項目	回答数	比率
増強の予定	12	8.8%
変わらない	92	67.2%
縮小の予定	5	3.6%
無回答	28	20.4%
合計	137	100.0%



⑮現在、感じられている経営上の課題をお教えてください。

項目	回答数	比率
売上・受注の停滞、不振	48	22.7%
求人・人材難	38	18.0%
競争の激化	33	15.6%
諸経費の増加	30	14.2%
設備・店舗等の老朽化又は狭さ	32	15.2%
その他(自由形式)	6	2.8%
無回答	24	11.4%
合計	211	100.0%



・生産・営業用設備に関する予定について、「増強の予定」と回答した事業所のうち、建築業、製造業、サービス業が積極的です。

・事業所が現在、感じている経営上の課題は、「売上・受注の停滞、不振」が最も多くなっています。これは業種によらず課題して挙げる事業所が多い状況です。次いで「求人・人材難」は建設業が最も多く、「競争の激化」は多くの小売業が課題としています。「諸経費の増加」に関しては、小売業、建設業、サービス業がそれぞれ課題として挙げています。

【まとめ】

・岡垣町商工会としては、今年度、小規模事業者が経営の持続化を図れるよう、経営分析や事業計画の作成を支援して参りました。今回の会員アンケートで確認された事業者の状況や需要の動向に応じて新商品開発や新事業展開、販路開拓等の伴走型の支援に、より具体的に取り組み、強化していく必要があると考えます。

以上